

団体名		(公財)武蔵野生涯学習振興事業団						
① 事業	指標名	お客様満足度の向上			目標値	事業に参加したお客様のうち、事業を「満足」と感じたお客様の割合：80%以上	実績値	体育館事業 90.8% プレイス総合満足度86.8%
	過去の実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: )	体育館事業90.3% プレイス総合満足度87.8%	体育館事業91.2% プレイス総合満足度90.7%	体育館事業91.2% プレイス総合満足度90.7%				
	取組内容	※26年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 体育施設では、事業終了後にアンケートを実施し、評価や要望を分析し、次の事業に活用することにより、より水準の高いサービスを提供している。満足度が高い場合でも、リピーターが多く特定の利用者のみとなっている教室等は、初心者に参加しやすい事業に変更も行っているが、結果的に満足度は維持できている。プレイスにおいては、市民が「交流」の場として気軽に来館いただくには、事業の満足度とともに、接客を含めた総合満足度が重要な指標になるため、モニタリング調査の総合満足度を指標とした。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①体育館事業：アンケート調査開始以来常に90%以上の評価で、平成26年度も90.8%と目標を達成した。25年度に引き続き、障害者スポーツ教室やプレイスを会場とした教室を実施し、今後も継続して欲しいという要望をいただいている。地域ニーズを把握することで、スポーツの裾野を広げる事業が実施できた。 ②プレイス事業：平成25年度と比較すると9.2ポイント減である。「概ね満足」は微減だが、「満足」が8.3ポイント減、その分、「普通」が6.8ポイント、「やや不満」が2.4ポイント増となった。プレイスオープン時の新鮮さの評価が平準化した結果と考えるが、依然高い水準であり、職員の接客やプレイス・フェスタなど4機能が連携した様々な事業などが、総合的に評価されたものと考えている。今後も様々な「場」の提供を行い、市民の活動を支援していく。						
二次評価	目標達成とそれに向けた様々な取り組みを評価する。より高い目標を掲げ、引き続き水準の高いサービスが提供されることを期待する。							
② 財務	指標名	教室・講座参加料などの自主財源を増やすよう努める			目標値	参加料等収入：41,000千円	実績値	43,187千円 (34,526千円)
	過去の実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: )	38,296千円 (30,942千円)	40,091千円 (31,890千円)	39,333千円 (33,463千円)				
	取組内容	※26年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①事業PRの工夫等により、事業参加者の参加率を向上させ、参加料金収入の増額に努めた。 ②来館者数の増加等により、カフェの売り上げ手数料の維持、増加を図った。 ③基本財産等の運用を適切に行い、利息収入の増を図った。 平成24年度までは、参加料収入のみの目標値であったが、26年度は自主財源も含め目標とした。( )内は参加料のみの金額						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①教室等の参加者数増による参加料収入の増加、カフェの売り上げの増加により、参加料のみの収入は目標を下回ったが、参加料を含む自主財源全体では目標を達成した。 ②今後の方針は、教室等の定員の大幅な増加は難しいことから、平成27年度から指定管理事業となった自動販売機の売り上げ等の自主財源による収入増を目指す。						
二次評価	参加者や来館者の増加に向けて取り組んでおり、参加料及び自主財源全体でも前年を上回って目標を達成したことを評価する。							
③ 内部管理	指標名	コンプライアンスの向上			目標値	①諸制度・諸規定の整備②嘱託職員の規定の整備③第三者期間による外部評価の実施	実績値	①中期計画を策定した。②嘱託職員の規定を整備した。③外部評価は実施できなかった。
	過去の実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成率	66.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: )		保険加入	規定類の整備 外部評価の実施				
	取組内容	※26年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①平成27年度からの指定管理の受託に伴い、嘱託職員を含む全職員の参加により、事業団の5か年間の「中期計画」を策定した。 ②嘱託職員の無期雇用制度の導入を決定し、就業規則及び育児休業等の規定を整備した。 ③コンプライアンス研修を強化し、26年度は管理職を対象とした内部統制研修を実施した。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①指標であるコンプライアンスを重点事項とする中期計画の策定を、職員参加で策定したことは大きな成果であるとする。諸規程の整備については、平成27年度に委員会を設置し、集中的に取り組む予定である。 ②嘱託職員の関係規定を整備し、規定に基づく育児休業等の取得も実施されている。 ③第三者機関による外部評価は、中期計画の策定等により、26年度中には実施できなかった。現在A評価（概ね安定的かつ良好な状態）を取得しているが、さら上位の評価を得られるようよう準備する。						
二次評価	様々な雇用形態の職員が増える中、コンプライアンス向上に向けた取り組みを実践している。中期計画で決定した方針及び取り組みを着実に実施されたい。							